

本田 忠雄 教授略年譜

- 1937年 9月 大阪市に生まれる
- 1956年 3月 大阪府立今宮工業高等学校電気科卒業
- 1956年 4月 サンスター歯磨株式会社入社（1965年 7月まで）
- 1962年 4月 関西大学文学部仏文学科（第 2 部）入学
- 1966年 3月 同 卒業
- 1966年 4月 大阪市立大学大学院文学研究科フランス文学専攻修士課程入学
- 1969年 3月 同 修了
- 1969年 4月 大阪市立大学大学院文学研究科フランス文学専攻博士課程入学
- 1972年 3月 同 所定単位取得後退学
- 1972年 4月 関西大学非常勤講師（1973年 3月まで）
- 1973年 4月 関西大学文学部専任講師
- 1975年 7月 フランス政府招聘、文部省派遣渡仏教授団の一員としてポワティエ大学およびトゥール大学における夏期研修に参加。研修終了後10月よりパリ第 3 大学 Institut d'études linguistiques et phonétiques に留学（1976年 3月まで）
- 1976年 4月 関西大学文学部助教授
- 1981年10月 教職課程委員会委員（1983年 9月まで）
- 1983年 4月 関西大学文学部教授
- 1983年 7月 フランス政府招聘、文部省派遣渡仏教授団の一員としてモンプリエ ポール・ヴァレリー大学における夏期研修に参加（同年 9月まで）
- 1984年 6月 日本フランス語フランス文学会1984年度スタージュ運営委員会副委員長（国内スタージュ現地責任者）

- 1984年 6月 日本フランス語フランス文学会関西支部幹事（1986年 6月まで）
- 1991年11月 教学充実検討委員会委員（1992年 3月まで）
- 1992年 4月 関西大学在外研究員（学術研究）としてパリ第4大学に留学（1993年 3月まで）
- 1993年10月 図書委員会委員（1995年 9月まで）
- 1994年 6月 日本フランス語フランス文学会関西支部学術雑誌「関西フランス語フランス文学」編集委員（1995年 6月まで）
- 1994年10月 出版委員会委員（1996年 9月まで）
- 1995年10月 大学院自己点検評価委員会委員（1997年 9月まで）
- 1996年10月 学部学生相談主事（1998年 9月まで）
- 1998年10月 学術研究助成基金助成委員会委員、重点領域研究助成委員会委員、一般教育等研究センター研究員（2000年 3月まで）
- 2000年 4月 関西大学在外研究員（調査研究）としてフランスに留学（同年 9月まで）
- 2002年 9月 博士（文学）関西大学 論題「古フランス語研究 — Marie de FRANCEの言語を中心に —」
- 2003年10月 重点領域研究助成委員会委員（2004年 9月まで）
- 2006年 4月 図書委員会委員（2008年 3月まで）
- 2008年 3月 関西大学文学部 定年により退職

本田 忠雄 教授研究業績

論文

Marie de FRANCEの短詩における主語人称代名詞の使用と省略について — *Bisclavret*を中心として — 「リュテス」第6号 大阪市立大学フランス文学会 1971年10月29日 1～14頁

Marie de FRANCEの短詩における語順の問題 — *Le Fresne*を中心として — 「フランス語学研究」第7号 日本フランス語学研究会 1973年5月20日 81～94頁

Marie de FRANCEの短詩における否定表現について「関西大学文学論集」第23巻第2・3号 関西大学文学会 1974年2月15日 41～66頁

*Erec et Enide*における否定表現について — Marie de FRANCEとの比較 — 「仏語仏文学」第8号 関西大学仏文学会 1975年12月10日 171～190頁

Marie de FRANCEにおける前過去形について「関西大学文学論集」第28巻第1号 関西大学文学会 1978年9月30日 1～13頁

Ancien françaisの指示詞に関する一考察「関西大学文学論集」第30巻第3号 関西大学文学会 1981年2月28日 29～43頁

Marie de FRANCEにおける付加形容詞の位置について「関西大学文学論集」第32巻第3号 関西大学文学会 1983年2月28日 23～38頁

Ancien françaisにおける補語人称代名詞の位置について — とくに疑問文の場合 — 「関西大学文学論集」第34巻第1号 関西大学文学会 1984年11月30日 25～40頁

Marie de FRANCEにおける *tutoiement* と *vouvoiement* 「仏語仏文学」第18号 関西大学仏文学会 1989年12月20日 49～62頁

古フランス語における過去分詞の一致について「関西大学文学論集」第44巻第1～4号 関西大学文学会 1995年3月31日 87～100頁

形容詞 “*vermeil*” についての一考察「T. L. L. M. F.」第6号
大阪市立大学大学院森本研究室 1995年9月1日 47～52頁

古フランス語における条件文について — Marie de FRANCEの場合 —
「仏語仏文学」第26号 関西大学フランス語フランス文学会 1999年2月28日 21～34頁

*Lais*における愛の葛藤の記述に関する一考察「仏語仏文学」第28号
関西大学フランス語フランス文学会 2001年2月28日 1～13頁

Marie de FRANCEの*Lais*における愛の諸相「仏語仏文学」第30号 関西大学フランス語フランス文学会 2003年2月28日 23～41頁

中期フランス語の指示詞に関する一考察「仏語仏文学」第33号 関西大学フランス語フランス文学会 2007年2月28日 1～18頁

*Lais*の登場人物に見られる倫理観『フランス中世讃歌〈T. L. L. M. F.〉』特別号 2007年6月30日 1～12頁

翻訳

マリ・ド・フランス『レ』 — 中世フランス恋愛譚 — 共訳 東洋文化社 1980年5月28日 1～3頁、45～96頁、107～124頁、160～200頁

アルフォンス・デュブロン著『サンティヤゴ巡礼の世界』共訳 原書房 1992年9月12日 249～331頁

『中世ブルターニュ妖精譚』共訳 関西古フランス語研究会 1998年7月1日 73～86頁、155～160頁、189～216頁

口頭発表

バルザックにおける接続法半過去の用法に関して 日本フランス語フランス文学会関西支部会 関西大学 1968年11月16日

Remarques sur l'emploi des pronoms personnels sujets dans *Bisclavret* de Marie de FRANCE 大阪市立大学フランス文学会 大阪市立大学 1971年4月25日

Marie de FRANCEの短詩における語順の問題 日本フランス語フラン

ス文学会1972年度秋季大会 西南学院大学 1972年10月7日

Marie de FRANCEの短詩における否定表現について 関西大学仏文学
会 関西大学 1973年12月10日

その他

古フランス語のすすめ「流域」第7号 青山社 1982年2月10日 6
～7頁

LL教室におけるフランス語教育「関西大学視聴覚教育」第21号 関
西大学視聴覚教室 1998年3月31日 32～34頁

教育をめぐる環境の変化と大学の対応「活動報告」関西大学文学部将
来構想委員会 2002年9月25日